
平成25年度 NPOつけちスポーツクラブ事業計画書



2013年4月1日

NPOつけちスポーツクラブ

目次

エグゼクティブサマリー	P2
1 クラブの概要	P3
2 クラブのミッションとビジョン	
2-1 クラブのミッション	P4
2-2 クラブのビジョン	P4
2-3 ビジョン達成に向けた具体的なゴール	P4
3 マーケティング	
3-1 市場分析・商圈分析	P5
3-2 クラブの周辺の競合の状況	P6
3-3 外部環境の分析	P7
3-4 内部環境の分析	P8
3-5 プロダクト開発	P9
プロダクト戦略の概要	
4 クラブの経営戦略と事業展開	
4-1 基本戦略と戦略パターン	P10
4-2 ビジネスモデル(図)	P10
4-3 事業内容	
(1) 年間プログラム	P11
(2) 週間プログラム	P12
(3) 受託業務(自治体などから受託)	P12
(4) その他事業(飲食・物販・広告等)	P12
4-4 料金体系等	
(1) プログラム・イベント参加	P13
(2) 飲食・物販・広告	P13
(3) NPO法人正会員・賛助会員	P13
4-5 施設の管理と運営	
(1) 活動拠点の確保方策(指定管理者等)	P14
(2) 施設維持管理費	P14
5 組織・人材(配置・確保・養成)	
5-1 組織の基本的な考え方	P15
5-2 組織図(人数も明記)	P15
5-3 報酬制度	
(1) 職員給与体系	P16
(2) 各種報酬体系(指導者、運営スタッフ等)	P16
5-4 労務管理	
(1) 勤務日数	P16
(2) 勤務時間	P16
(3) 安全衛生	P16
(4) 採用・解雇・退職	P16
6 クラブの安全管理	
6-1 リスクマネジメント	P17
6-2 保険	P17
6-3 緊急連絡先	P17
7 事業収支計画	
7-1 概要	P18
7-2 平成25年度 収支計画書【経常収入の部】	P19
7-3 平成25年度 収支計画書【経常支出の部】	P20

● NPOへご協力いただいている方々への提案

「NPO法人つけちスポーツクラブ」では、

設立時に理念に基づき「NPO活動」については、「社会的な使命の達成を目的に、市民が連携し、自発的かつ非営利で行う社会的、公益的活動」としてとらえ、そうした活動を継続的に行っている民間の組織・団体を「NPO法人」と定義し、NPO法人格の取得しました。

NPOは、「自主性」、「個別性」、「迅速性」の特性を持っています。行政の持つ公平性や企業の持つ利潤追求という社会的価値にとらわれず、いろいろな課題に対して、迅速で先進的で自由な発想により、個別的で柔軟なサービスを地域社会へ提供することが可能です。今後、その特性を生かすことによりNPOは、行政、企業と並ぶ第3のセクターとして期待され、それぞれのセクターがバランスよく機能していくことで、豊かで活力のある社会の構築が進むものと考えています。

この付知地区においても、地方分権型社会と云われていますが、残念ながら従来の地域社会におけるコミュニティが弱体化しつつあります。「NPO法人つけちスポーツクラブ」では、総合型地域スポーツクラブの取り組みを通じて、分権型社会の形成を促進し、新たな地域社会（コミュニティ）づくりの主体となり得ることを念じ運営をしています。

運営理念は組織としての自立と自律（Independence）を目指しています。自立とは、『自分たちの財源で経済的に成り立っていること』。自律とは、『自分たちのことは自分たちで決めて、自分たちで行動するということ』です。

以上のような考えから

「NPO法人つけちスポーツクラブ」は
地域と子どものために

「あせを流し」「知恵を与え」「お金を出す」
NPO正会員（社員）・会員（賛助会員）・賛助企業・賛助団体
のご協力で運営されています。

「NPO法人つけちスポーツクラブ」では
賛助会員のご理解とご協力を得ながら

**新たな会員を求めています！
賛助企業・賛助団体を求めています！**

1. クラブの概要

名称	NPO法人 つけちスポーツクラブ	
法人格	NPO法人	
所在地	〒508-0351 岐阜県中津川市付知町5692番地	
電話番号	TEL.0573-82-2005(代)	
FAX番号	FAX.0573-82-2257	
電子メール	info@tsukechi-sc.org	
Webサイト	http://www.tsukechi-sc.org/	
代表者	理事長 曾我 啓次	
役員	副理事長 織田 義敏 理事 長谷川忠好 監事 山内弘明 アシスタントマネジャー 内木 正一	
職員	正規職員 1名 (常勤) 臨時職員 3名	
利用会員数	家族会員数 225家族	会員数 1085人
実施種目	ジュニア野球・ジュニアサッカー・ジュニアソフトボール・ジュニア男子バスケットボール・ジュニア女子バスケットボール・ジュニアバレーボール・ジュニア卓球・ジュニアソフトテニス・ジュニア陸上・スポーツ少年団柔道・スポーツ少年団空手・スポーツ少年団野球・スポーツ少年団ソフトボール・スポーツ少年団弓道・スポーツ少年団剣道・スポーツ少年団サッカー・シニアサッカー・シニア卓球	
活動場所	付知B&G海洋センター 付知グラウンド 付知中学校 体育館・グラウンド 付知南小学校 体育館・グラウンド	付知弓道場 河川公園 グラウンド・テニスコート 付知北小学校 体育館・グラウンド
設立年月日	平成17年2月25日	
設立の経緯	平成15年5月 付知中学校PTA部活動研究委員会設置 平成16年5月 つけちジュニアスポーツクラブ設立 平成16年5月 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会設置 平成17年3月 NPO法人の取得 平成17年3月 NPO法人つけちスポーツクラブ設立 平成18年3月 総合型地域スポーツクラブ設立 平成20年4月 付知地区スポーツ施設の指定管理を受託 平成21年9月 toto助成金交付 平成22年4月 toto助成金交付 平成23年4月 付知地区スポーツ施設の指定管理を再受託 平成23年4月 toto助成金交付 平成24年4月 toto助成金交付 平成25年4月 toto助成金交付 平成25年8月 認定NPO法人 申請中	

2. クラブのミッションとビジョン

2-1. クラブのミッション(設立理念、設立の動機・背景)

「スポーツで地域と子どもを元気にしよう！」

設立理念

完全学校週5日制による子どもたちの休日の有効活用、並びに付知町の中津川市への編入合併以降の地域住民総参加型交流事業の展開を両立するべく、約6600人に上る付知地区住民に対して、スポーツを通じた健全で健康な社会環境づくり、競争意欲の向上に伴う競技のレベルアップ、それに多彩な競技の安定的開催の実現に寄与する

設立の動機・背景

- ・学校週5日制における子どもたちの居場所づくりの整備ができていない。
- ・市町村合併等により行政に依存していた地域の活力が失われつつある。
- ・地域コミュニティが希薄化するとともに、子供を取り巻く事件が多発している。
- ・既存のスポーツ組織は年齢、種目が限定的であり、よりよい連携が図られない。
- ・子どもたちの体力が低下している。
- ・学校や行政に依存してきたスポーツ活動の限界にきている。

このような現状を踏まえ、地域・家庭・学校がスポーツを通して「人づくり」「地域づくり」のための活動を地域の皆さんと共に実現を目指しています。人と人とのつながり、各団体の連携を育てる中で、希薄化しつつある地域コミュニティを再生すると共に、「いつでも、誰でも、どんなときでもスポーツに親しむ」ことのできる元気ある地域をつくりたいと考えています。

2-2. クラブのビジョン(5年後のクラブの将来像)

「地域みんなでづくり、育てる総合型地域スポーツクラブ！」

多様性……初心者から競技者まで、どんなレベルの人も楽しめる。
多様目……自分のやりたい種目をいくつでも選択し、楽しめる。
多世代……子供から高齢者まで生涯通して、スポーツができる。
一貫指導……子供から高齢者まで、質の高い指導を継続して受けることができる。
地域コミュニティ……地域社会の人間関係が親密になる。
拠点施設……地域のスポーツ施設を有効かつ計画的に利用できる。
協働……行政・地域の各種団体との連携による地域づくり。

2-3. ビジョン達成に向けた具体的なゴール(数値目標、具体目標)

会員数の目標	1,095人 から 1,300人 (242家族会員 ～ 275家族会員)	(2015年までに)
商圏人口の	20 %	
スポーツ人口の	100 %	
クラブ加入人口の	18.7 % 増	
主な顧客ターゲット	50歳代から65歳以上の中・高齢者 (商圏人口 7%から12%) 16歳から30歳代までの成人 (商圏人口 1%から6%) 小学生のクラブ未加入者 (商圏人口 16%から21% 小学生の55% スポーツ少年団の完全クラブ加入へ(4団体から7団体) 達成	

上記の設定理由

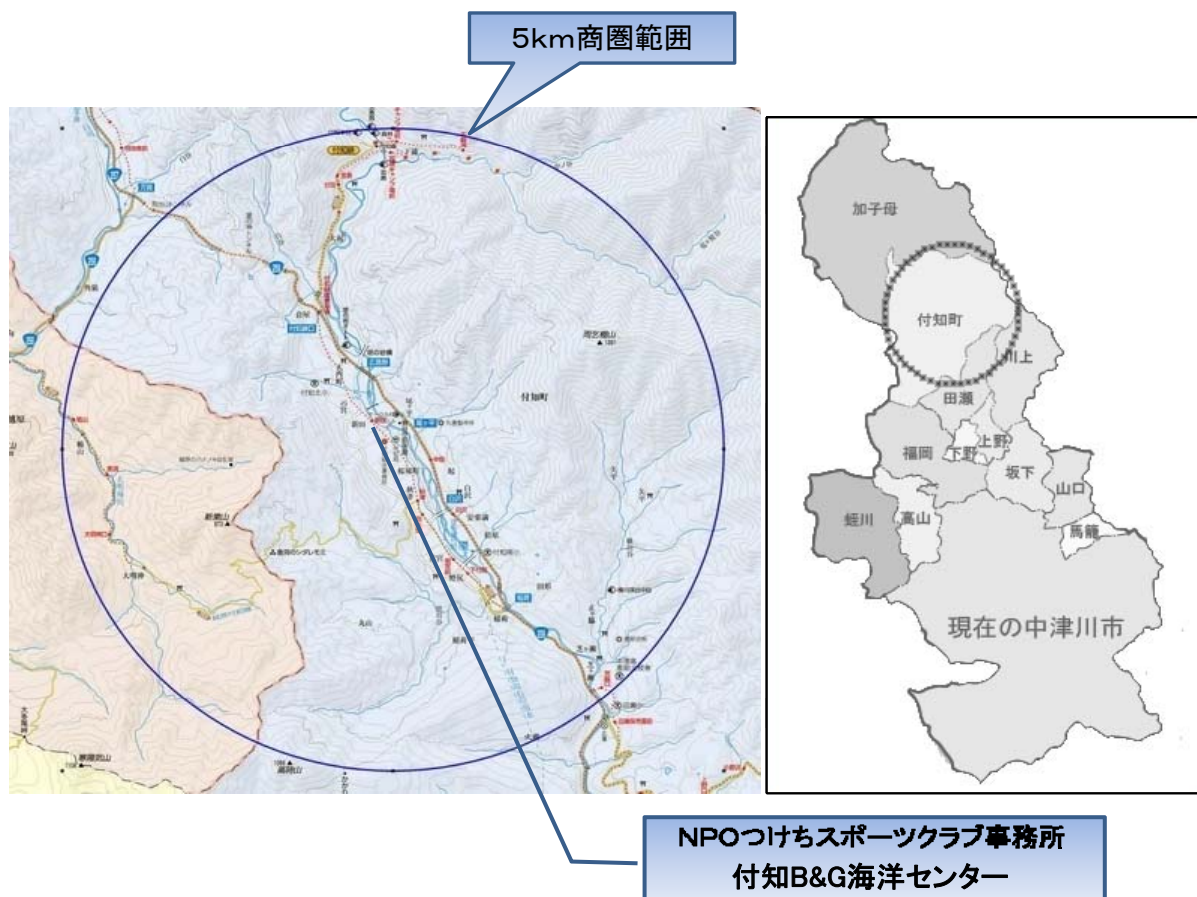
つけちスポーツクラブは成り立ちからジュニア、スポーツ少年団が主流のクラブであることや家族会員制度のため中学生は98%、小学生の50%が加入しています。しかし、小学校、中学校の子どもがいない家族(50歳代以上、中学卒業後から30歳代)の会員が少ないことがあり、これを今後は顧客として設定をしていくことが必要です。

3. マーケティング

3-1. 市場分析・商圈分析

(平成24年4月現在)

住所		半径 5 km					
主な商圈		6,263 人					
年齢別人口		人					
	0～9歳	475 人	7.60%	幼児	270 人	4.30%	
				小学生	353 人	5.60%	
	10～19歳	622 人	9.90%	中学生	186 人	3.00%	
				16～19歳	288 人	4.60%	
	20～28歳	560 人	8.90%	20～29歳	560 人	8.90%	
	30～39歳	627 人	10.00%	30～39歳	627 人	10.00%	
	40～49歳	690 人	11.10%	40～49歳	690 人	11.10%	
	50～59歳	876 人	14.00%	50～59歳	876 人	14.00%	
	60歳以上	2,413 人	38.50%	60～64歳	540 人	8.60%	
				65～74歳	750 人	12.00%	
				75歳以上	1,123 人	17.90%	
(参考)スポーツ人口		1,253		人	20%		
(参考)クラブ加入人口		1,085		人	17.30%		
その他							



NPOつけちスポーツクラブの活動地域である中津川市付知町は合併前の行政区で、岐阜県東部に位置し、町の北部・東部には標高1,500mを超える阿寺山地が連なり、南部・西部には標高700～1,000mの丘陵地帯が広がる四方を山に囲まれた地域です。町の中心を北から南方向への阿寺断層に沿って付知川が南流しています。主な集落は付知川沿いに分布する人口6,300人ほどの農林業が中心の中山間地域で、多くの中山間地域と同じように少子高齢化が進みいろいろな問題をかかえた地域です。

3-2. クラブの周辺の競合の状況

＜競合分析＞自分のクラブと競合する可能性のある施設や組織

施設・組織名	クラブの拠点からの距離	競合の可能性について (何が、どのように競合する可能性があるか。)
福岡B&G海洋センター	10km	まったく同じ施設ですが、中津川市直営です。近隣であることから利用者が競合する可能性があります。旧の行政区が違い集落も離れ大きな脅威とは感じられない。
加子母B&G海洋センター	10km	まったく同じ施設ですが、中津川市直営から、今年度より指定管理として下呂のスポーツクラブが請け負っています。
コパンスポーツクラブ中津川	25km	健康志向にある利用者が最近多くなってきました。そんななかで、最近オープンした施設です。私たちの施設と比べると指導員の質、人数とも格段に整っています。しかし、行っている内容では競合する部分は少なく、大きな脅威は感じられません。今後指定管理者として競合してくる可能性もあります。
スポーツクラブアクトス恵那店	30km	健康志向にある利用者が最近多くなってきました。そんななかで、私たちの施設と比べると指導員の質、人数とも格段に整っています。しかし、行っている内容では競合する部分は少なく、大きな脅威は感じられません。今後指定管理者として競合してくる可能性もあります。
スポーツクラブウイング	25km	エアロビクス等を中心としたクラブですが、加子母B&G海洋センターの施設を指定管理されてみえます。

＜地域の資源分析＞自分のクラブが活用・連携の可能性のある施設・組織

施設・組織名	クラブの拠点からの距離	活用・連携の可能性について (何を、どのように活用・連携できる可能性があるか。)
福岡B&G海洋センター	10km	まったく同じ施設であり、近隣であることからお互いに施設の利用や情報の共有ができる。また、定期的な会議も行っている。
加子母B&G海洋センター	10km	まったく同じ施設であり、近隣であることからお互いに施設の利用や情報の共有ができる。また、定期的な会議も行っている。
コパンスポーツクラブ中津川	25km	水泳教室、エアロ等の指導者を願います。
スポーツクラブアクトス恵那店	30km	水泳教室、エアロ等の指導者を願っています。
スポーツクラブウイング	25km	エアロ等の指導者を願います。

＜特徴＞クラブの周辺状況の特徴(まとめ)

商圏人口の特徴	山に囲まれた山村地域でいわゆる少子高齢化の進んでいる形態です。私たちのクラブは合併時における中学校の部活動を支援するためにスポーツ少年団も含めて設立されたこともあり、中学生の加入率は98%、小学生の加入率は約50%で、今後も少子による減はありますが、家族会員制でもあり会員の確保は安定しています。
競合環境の特徴	隣接の旧町村には同じような施設を中津川市営で運営をしています。民間のスポーツクラブは25km以上離れた地区で近くにはない。今後も進出してくることは考えられないと思います。ただ指定管理として競合してくる可能性は今後の脅威として考えなければいけないと思われます。
地域資源の特徴	指定管理者制度にて付知B&G海洋センターと付知グラウンド等を委託管理しており、拠点として活動ができる。もともと地域ではスポーツに対する関心は高く、普段からスポーツに親しんでいる人が多い。近隣の施設とはいろいろなイベントなどで協力体制は出来ており、指導者同士の交流も以前から行われている。
その他	B&G海洋センターのインストラクターによる「付知B&G海洋センター指導者会」によるB&G海洋センターの事業に対しての全面的な協力が得られます。

3-3. 外部環境の分析

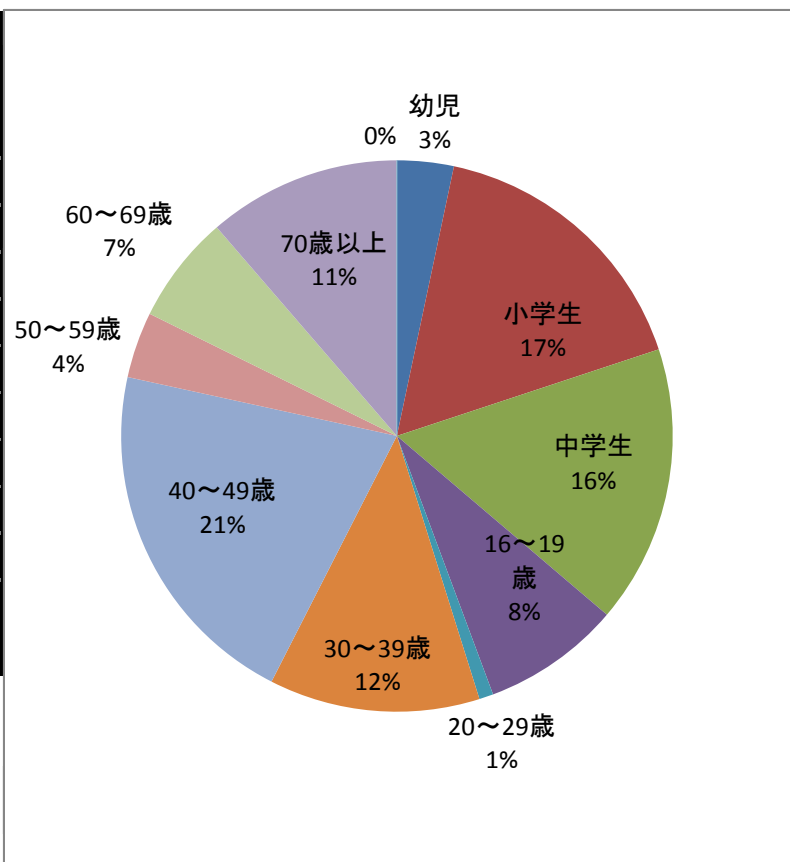
	要因	事実	機会/脅威の根拠・仮説	機会/脅威
マクロ環境要因：人口分析＋PEST分析	人口動態環境	少子高齢化	【脅威】 小学生・中学生の減少 【機会】 高齢者の増加	【脅威】 会員の減少 【機会】 高齢者の会員の確保
	政治的・法的環境	行政改革	【脅威】【機会】 地区での市職員の減少 【脅威】 補完性の原則	【機会】 指定管理者制度 【脅威】 自主運営 自己負担の増加
	経済的環境	恒久的な不景気 行政の財政不足	【脅威】 指定管理料の減少 行財政改革 補助金の減少	【脅威】 自己負担の増加 自主財源の確保
	社会的・文化的環境	健康志向 団塊の世代の退職者	【機会】 運動・スポーツへの関心 余暇の過ごし方	【機会】 中高年層会員の増加
	技術的環境	公共交通機関がない	【脅威】 小・中・高校生の送迎	【脅威】 会員の減少 【機会】 親子事業の計画
ミクロ環境	顧客	小学生・中学生の加入率は高く今後も会員の確保は安定している。	【脅威】 少子化による会員の減少	【脅威】【機会】 新たな顧客の確保
	競合	民間スポーツクラブは近くにはないが、今後は指定管理として競合してくる可能性が考えられます。	【脅威】 指定管理業務の公募による競合	【脅威】【機会】 より良質な事業の提供
外部環境分析結果概要	つけちスポーツクラブは成り立ちから、ジュニア、スポーツ少年団が主流のクラブであることや家族会員制度のため、中学生は98%、小学生の50%が加入しています。しかし、小学校、中学校の子どもにない家族(50歳代以上、中学卒業後から30歳代)の会員が少ないことがあり、これを今後は顧客として設定をしていく必要があります。			

3-4. 内部環境の分析

要因	強み	弱み
ヒト:人材、組織	常勤の職員を雇用している。 臨時職員を雇用している。 B&G財団公認インストラクターを雇用してB&G海洋センター指導者会の協力がある。	広報を作成する人材が不足している。 指導者が不足している。 NPO会員の協力意識が希薄化である。 NPO会員の協力体制が整っていない。
モノ:施設、設備、備品	体育施設を指定管理で管理している。	3年間の委託では短く長期的な計画が立てにくい。
カネ:会計、財務	会費で最低限の運営が可能となっている。 NPOの利点を活用して補助金を獲得できる。	自主財源が不足している。 地区ではスポーツに金を払うことに関する理解が少ない。
ヒト:会員	スポーツ少年団・ジュニアスポーツが中心で会員の確保が出来る。	高校生～20歳代の会員が少ない。 50歳代以上の中・高齢者の会員が少ない。 少子化による会員が減少している。
バシヨ:地域、地形	旧行政区でまとまりがある。 四方を山で囲われて地域がまとまっている。	他地区からの会員の確保が難しい。 公共交通機関での集客が難しい。
内部環境分析結果概要	現状での維持は可能で安定性はありますが、今後の発展性に問題があります。 新たな顧客を開拓する必要があります。	

TSC会員分析(人)		
平成24年4月現在の会員		
幼児	36	3.30%
小学生	180	16.60%
中学生	177	16.30%
16～19歳	88	8.10%
20～29歳	9	0.80%
30～39歳	134	12.40%
40～49歳	227	20.90%
50～59歳	42	3.90%
60～69歳	69	6.40%
70歳以上	123	11.30%
合計	1,085	100%

※複数クラブへの加入も数えてあります。



3-5. プロダクト開発

《プロダクト戦略の概要》

通常教室(サークル)		
スポーツ少年団		
スポーツ少年団野球		
スポーツ少年団空手		
スポーツ少年団柔道		
スポーツ少年団ソフトボール		
スポーツ少年団弓道		
スポーツ少年団剣道		
スポーツ少年団サッカー		
ジュニアスポーツクラブ		
ジュニア野球		
ジュニアサッカー		
ジュニアソフトボール		
ジュニア陸上		
ジュニアバレーボール		
ジュニア卓球		
ジュニア男子バスケットボール		
ジュニア女子バスケットボール		
ジュニアソフトテニス		
シニアスポーツ		
シニアサッカー		
シニア卓球		
エンジョイプログラム		
カヌー教室	小学生 中高学年	
水泳教室	小学生	
スキー教室	小・中学生	
スケート教室	小学生 中高学年	
パワーアッププログラム		
スポ少・ジュニア野球教室	小・中学生	バンビ坂本野球教室
スポ少・ジュニアソフトボール教室	小・中学生	ミナモソフトボール教室
チャレンジプログラム		
健康ウォーキング教室	付知地区	一般
海つくり大会記念ウォーキング	中津川地区	一般
ビーチボール教室	付知地区	一般
ソフトバレーボール教室	付知地区	一般
ペタンク教室	付知地区	一般
インディアカ教室	付知地区	一般
キンボール教室	付知地区	一般
つけちハツラツウォーキング	中津川地区	一般
パソコン教室	付知地区	一般
ゲームスプログラム		
付知町柔道大会	東濃地区	幼小中学生・高校生・一般
ジュニア・シニアサッカー大会	付知地区	中学生・一般・シニア
付知町盆野球大会	中津川地区	一般
付知町空手道大会	付知地区	小・中学生
付知スポーツ少年団野球大会	付知地区	小学生・父兄
付知町駅伝交流会	付知地区	小・中学生
ジュニアバレーボール大会	東濃・加茂地区	中学生
付知町インディアカ大会(リーグ戦)	付知地区	一般
幡豆町交流ペタンク大会	付知地区	一般
幡豆町交流スポ少野球交流会	付知地区	スポーツ少年団野球
付知町学年別柔道大会	付知地区	小・中学生
付知町フットサル大会	中津川地区	中学生 一般
付知町グランドゴルフ大会	中津川地区	一般
カヌー交流大会	付知地区	小学生

詳細については別冊「プロダクト開発計画書」を参照にしてください。

4-3. 事業内容
(1) 年間プログラム

事業内容	サークル	①エンジョイ	②パワーアップ	③チャレンジ	④ゲームズ	⑤プロジェクト	
	通常教室	スポ少教室等	ジュニア教室等	体験会等	大会等	会議等	その他
4月	☆スポーツ少年団 野球 ソフトボール 柔道 空手 弓道 サッカー 剣道 スキー ☆ジュニア 野球 ソフトボール サッカー バスケットボール (男子・女子) バレーボール 卓球 陸上 ソフトテニス ☆シニア サッカー 卓球		・審判講習会(野球)		・付知町サッカー大会	・NPO理事会 ・Jrクラブミーティング ・広報会議	・NPO資源回収 ・広報紙発行
5月					・ソフトテニス交流会	・NPO理事会	
6月			・野球教室 ・審判講習会(ソフトボール)	・健康ウォーキング教室 ・海づくり大会記念ウォーキング ・スポンジテニス教室 ・シニア卓球教室	・付知町サッカー大会	・NPO理事会 ・NPO総会	
7月		・カヌー教室 ・水泳教室		・親子で着衣泳 ・ビーチボール教室	・付知町柔道大会	・NPO理事会	
8月		・水泳教室		・ビーチボール教室	・付知町盆野球大会 ・付知町空手道大会 ・付知町サッカー大会 ・カヌー交流大会	・NPO理事会 ・Jrクラブミーティング	
9月				・ベタンク教室		・NPO理事会 ・広報会議	・広報紙発行
10月				・ベタンク教室	・付知町スポーツ少年団野球大会 ・ジュニアバレーボール大会 ・付知町駅伝交流会 ・付知町フットサル大会	・NPO理事会 ・指導者会議 ・運営委員会	・安全運転管理者講習会
11月				・つけちハツラツウォーキング ・パソコン教室 ・キンボール教室	・幡豆町との交流ベタンク大会 ・幡豆町との交流少年野球大会	・NPO理事会 ・指導者会議 ・Jrクラブミーティング	
12月				・キンボール教室	・付知町サッカー大会	・NPO理事会 ・広報会議 ・運営委員会	
1月		・スキー教室		・インディアカ教室	・付知町インディアカ大会(リーグ戦)	・NPO理事会	・広報紙発行
2月		・スキー教室 ・スケート教室		・パソコン教室 ・ソフトバレー教室	・付知町インディアカ大会(リーグ戦) ・付知町サッカー大会	・NPO理事会	・付知中学半日入学(クラブ説明)
3月				・ソフトバレー教室	・付知町学年別個人戦柔道大会	・NPO理事会 ・運営委員会 ・Jrクラブミーティング	

(2)週間プログラム

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	事務局					通常業務	通常業務
9:00	休日	通常業務	通常業務	通常業務	通常業務	スポ少 ジュニア	スポ少 ジュニア シニアサッ カー
10:00							
11:00							
12:00							
13:00						スポ少 ジュニア	スポ少 ジュニア
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							事務局
18:00							休日
19:00	柔道	空手	Jrバレー	柔道	Jrバスケット	Jrバレー	
20:00	Jrバレー	Jrサッカー	Jrバスケット		Jrソフト		
21:00							

(3)受託業務(自治体などから受託)

指定管理受託 中津川市より受託

付知B&G海洋センター

付知グラウンド

付知弓道場

管理委託 中津川市より受託

付知中央河川公園体育施設

付知中央河川公園テニスコート

付知中央河川公園

事務委託

中津川市スポーツ少年団付知支部 事務委託

中津川市体育協会付知支部 事務委託

付知町地域情報システム実行委員会 放送事業委託

付知町野球連盟 事務委託

付知町優良材生産研究会・恵那地区林業グループ協議会 事務委託

裏木曾古事の森育成協議会 事務委託

(4)その他事業(飲食・物販・広告等)

自動販売機設置(日体協) 2台

クラブTシャツ販売

4-4. 料金体系等

(1) プログラム、イベント参加

会員種別	会員	一般	備考
エンジョイプログラム			
カヌー教室	300 円/人	500 円/人	
水泳教室 初級・中級	2,000 円/人	2,000 円/人	中津川市事業からの委託
水泳教室 上級	3,000 円/人	3,000 円/人	中津川市事業からの委託
スキー講習会	10,000 円/人	10,000 円/人	
スケート教室	1,500 円/人	2,000 円/人	
パワープログラム			
野球教室	10,000 円/チーム	15,000 円/チーム	
審判講習会(野球・ソフトボール)			
ソフトボール教室	10,000 円/チーム		
チャレンジプログラム			
健康ウォーキング教室	1,000 円/人	1,500 円/人	
海づくり大会記念ウォーキング	1,000 円/人	1,500 円/人	
ビーチボール教室	400 円/人	500 円/人	
ソフトバレーボール教室	400 円/人	500 円/人	
インディアカ教室	400 円/人	500 円/人	
ペタンク教室	400 円/人	500 円/人	
キンボール教室	400 円/人	500 円/人	
つけちハツラツウォーキング	1,000 円/人	1,500 円/人	
シニア卓球教室	1,000 円/人	1,500 円/人	
スポンジテニス教室	400 円/人	500 円/人	
転倒・寝たきり防止プログラム	500 円/人	500 円/人	
親子で着衣泳			B&G指導者会主催
パソコン教室	5,000 円/人	6,000 円/人	
ゲームスプログラム			
ジュニアバレーボール大会	2,000 円/チーム	2,000 円/チーム	
付知町柔道大会			体協主催
付知町サッカー大会	5,000 円/チーム	5,000 円/チーム	
付知町盆野球大会	6,000 円/チーム	6,000 円/チーム	
付知町空手道大会			体協主催
付知町駅伝大会			スポ少主催
付知町インディアカ大会(リーグ戦)	400 円/人	500 円/人	
付知スポーツ少年団野球大会	5,000 円/チーム		
幡豆町との交流ペタンク大会	400 円/人	500 円/人	
幡豆町交流スポ少野球交流会	400 円/人	500 円/人	
付知町学年別柔道大会	400 円/人	500 円/人	
ソフトテニス交流会	2,000 円/チーム	2,000 円/チーム	
カヌー交流大会	500 円/人		
フットサル大会	2,000 円/チーム		
グランドゴルフ大会	300 円/人		

各イベント内容により料金の設定をしています。

クラブ会員と一般参加者とは差別化をしたいと思います。(クラブ会員はおおよそ20%~30%割引)

(2) 飲食・物販・広告

自動販売機設置(日体協) 2台
クラブTシャツ販売

(3) NPO法人正会員・賛助会員

■ 正会員会費

年会費 10,000 円 (家族会員)

■ クラブ会員(賛助会員)会費

年会費 10,000 円 (家族会員)

年会費 20,000 円 (団体会員)

4-5. 施設の管理と運用

(1) 活動拠点の確保方策(指定管理者等)

- ◎ 活動拠点としての事務所は指定管理として受託している「付知B&G海洋センター」事務所を利用しています。
- ◎ 活動施設は指定管理者として管理をしている付知B&G海洋センター、付知グラウンド、河川公園グラウンド等の施設が学校施設を利用しています。

(2) 施設維持管理費

【付知B&G海洋センター】

業務内容		管理費	備考
清掃業務		0 円	職員・会員にて行う
設備管理業務	消防設備保守点検委託	27,300 円	民間業者へ委託
	電気保安協会保守点検	136,080 円	電気保安協会へ委託
建物管理業務	水質検査委託	31,185 円	民間業者へ委託
	プール濾過装置保守点検委託	27,300 円	民間業者へ委託
	貯水槽清掃委託	0 円	民間業者へ委託 今年度から無し
施設周辺維持管理		100,800 円	シルバー人材へ委託

【体育施設維持管理】

業務内容		管理費	備考
付知グラウンド・マレットゴルフ維持管理		491,560 円	草刈り・便所管理等 シルバーへ委託
付知中央河川公園体育施設維持管理		263,760 円	草刈り・便所管理等 シルバーへ委託
付知中央河川公園テニスコート管理		120,000 円	維持管理 民間業者へ委託

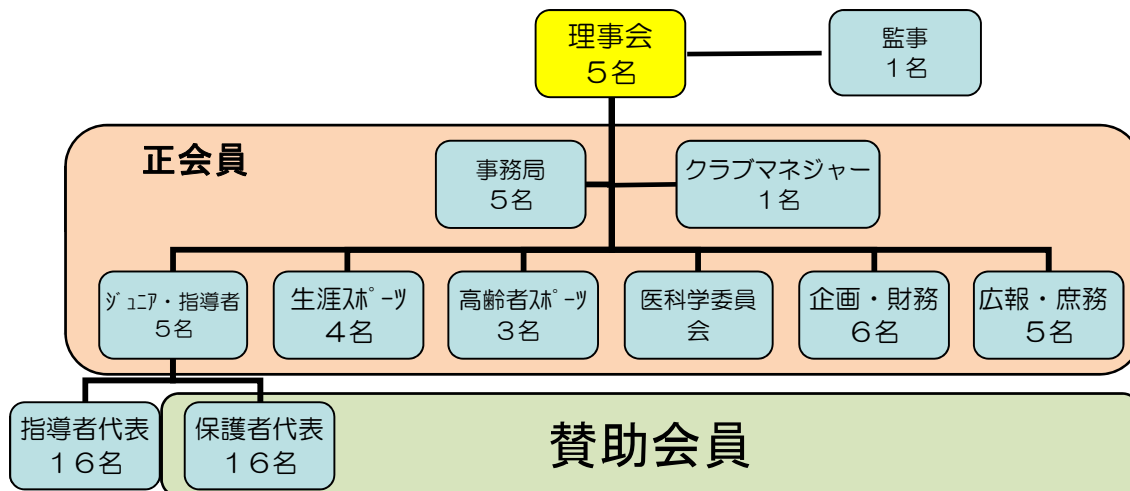
5. 組織・人材(配置・確保・養成)

5-1. 組織の基本的な考え方

運営委員会及び運営委員から提案された事項を理事会にて基本的な事業として計画。

正会員会議では実施計画を提案。運営委員会会議で実施をします。

5-2. 組織図(人数も明記)



運営委員会

【理事会】

理事長	曾我 啓次 (非常勤)
副理事長	長谷川 忠好 (非常勤) 織田 義敏 (非常勤)
アシスタントマネジャー	内木 正一 (非常勤)
事務局	片田 洋一郎 (常勤) 三尾 宏樹 (臨時) 原 京子 (臨時) 小池 八重美 (臨時)
監事	山内 弘明

【正会員(社員)】

長谷川 忠好	ジュニア・指導者
松本 孝司	ジュニア・指導者
今井 恭	ジュニア・指導者
曾我 啓次	ジュニア・指導者
片田 敏司	医科学委員会
田口 泰	医科学委員会
伊藤 英和	医科学委員会
西尾 誠祐	生涯スポーツ
小池 英明	生涯スポーツ
織田 義敏	生涯スポーツ
三尾 浩朝	生涯スポーツ
田口 和彦	高齢者スポーツ
長谷川 甲子枝	高齢者スポーツ
内木 正一	高齢者スポーツ
新井 清人	企画・財務
今川 春季	企画・財務
丹羽 栄作	企画・財務
岸 信介	企画・財務
日下部 立子	企画・財務
内木 尚美	広報・庶務
早川 雅子	広報・庶務
熊谷 万由美	広報・庶務
田口 秀樹	広報・庶務
早川 正人	
三浦 源三	
加地 良始	
熊崎 鐘作	

5-3. 報酬制度

(1) 職員給与体系

【専任職員】 1名

給与 賞与(6・12月の2回)	
社会保険	健康保険料(全額9.5%、折半額4.75%) 厚生年金料(全額16.058%、折半額8.029%)
労働保険	雇用保険(全額1.55%、事業主負担0.95%) 労災保険(0.3%事業主負担) 労働保険手続き手数料(年1回)
退職金(中退共)	

【臨時職員】 3名

800

円/時間

社会保険・労働保険・退職金 有

【アルバイト】 随時

800

円/時間

(2) 各種報酬体系(指導者、運営スタッフ等)

	時給		交通費	その他 (保険等)
	平日	土日		
実技指導者	350 円/回	350 円/回	無し	スポーツ保険
運営スタッフ	ボランティア	ボランティア	無し	スポーツ保険

5-4. 労務管理

(1) 勤務日数

原則 週休2日とします。

(労働時間は、週40時間、休憩時間を除き、1日7時間45分が原則)

(2) 勤務時間

始業 8 時 30分 ~ 終業 17時 15分まで(休憩時間 45 分)

(3) 安全衛生

労働安全衛生に関係する法規制を遵守

危険有害要因を除去

労働災害と健康障害の未然防止に努める。

従業員のメンタルヘルス

(4) 採用・解雇・退職

労働基準法及びNPO法人つけちスポーツクラブ服務規程による。

定めのない事項については、当事者の協議により処理する。

6. クラブの安全管理

6-1. リスクマネジメント

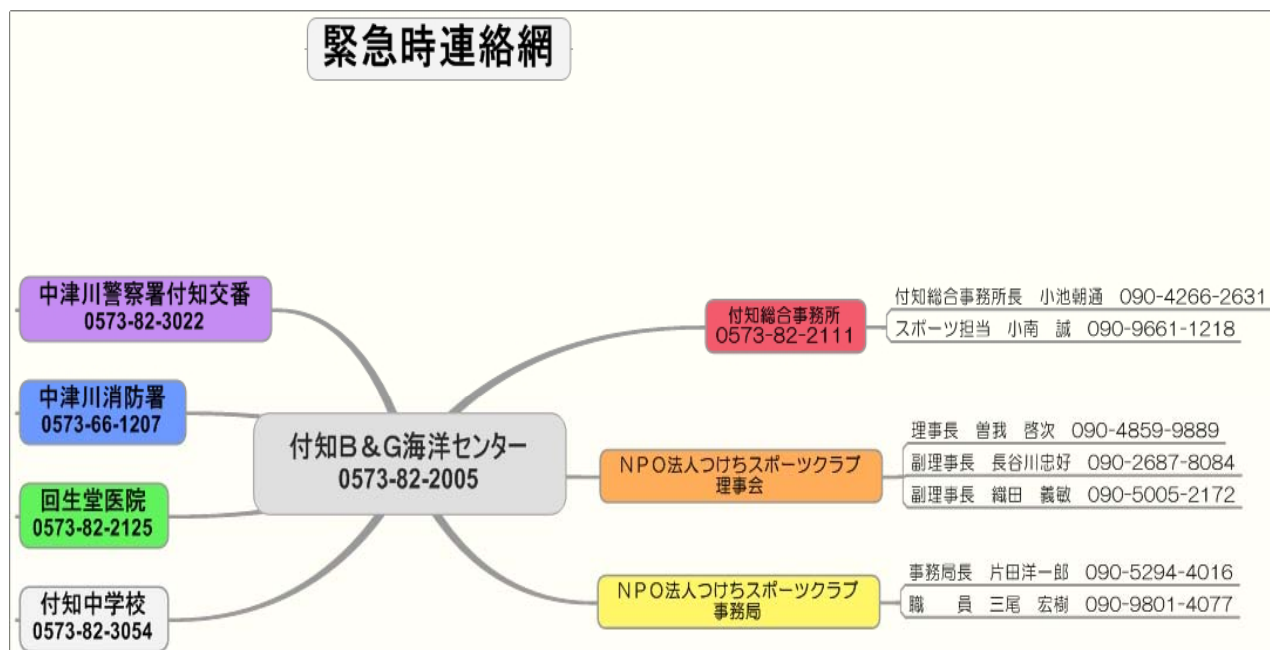
	起こりうる状況	予防と対策	対応	防止
①人・組織	・規律・規約の逸脱 ・クラブにとってマイナスな行動	・定期的な研修・ミーティングによる共通認識の確認と徹底	・クラブマネージャーによる個別面談	・入職時の新規教育の実施 ・定期的な研修会
②施設・用具	・劣化による破損 ・整備不良	・始業前の点検を徹底	・クラブマネージャーの指示 ・応急手当 ・病院搬送	・定期的なチェック ・ヒヤリハット
③経済面	・予算不足	・綿密な資金計画	・適切な保険に加入	・経理を随時チェック
④活動時	・不慮のケガ	・救急体制や緊急連絡網を整備 ・講習会等を開催	・スポーツ安全保険制度への加入	・安全管理マニュアルの策定 ・安全に対する意識の啓発
⑤情報	・個人情報の漏洩	・個人情報は事務所から持ち出さない	・リスクを拡大させない処置	・コンプライアンスの徹底
⑥活動環境	・事故、災害	・口頭による指導 ・警察による巡回を依頼	・状況の確認 ・今後の対応協議、決定 ・連絡	・会員、使用者に徹底

従業員
指導者
正会員
クラブ会員(小中学生)

労働災害保険
スポーツ保険
スポーツ保険
スポーツ保険

スポーツ保険

6-3. 緊急連絡先



7. 事業収支計画

7-1. 概要

「NPOつけちスポーツクラブ」の平成22年度収支計画書の概要を説明します。

【収支計画の基本的な考えについて】

NPOつけちスポーツクラブでは、会費収入についてはクラブ育成費の指導者補助金。クラブ運営費(事務局費)の賃金、消耗費。クラブ運営費(マイクロバス管理費)の車検費、保険料の支出に使用し、クラブの運営は会費だけで最低限の維持できることとしています。補助金、寄付金、費用弁償等その他の収入において、クラブをより発展させるための事業費に支出しています。

【経常収入の部について】

補助金ですが「姉妹都市交流事業」として旧付知町時の姉妹都市である愛知県幡豆町のスポーツ交流について中津川市より補助金を受けています。その補助にて、スポーツ少年団の野球交流会と幡豆町で開催されるベタンク大会へスポレククラブが参加し、ますます交流を深めています。

付知中学PTAより、合併以来予算が付かない中学校のスポーツ活動時のユニフォームについての補助と資源回収における資金とで継続で補助を行っています。

岐阜県体育協会よりクラブ運営バックアップ事業と付知地区青少年健全育成推進市民会議の補助を受け、スポーツクラブの自己資金を利用して「ハツラツウォーキング」を毎年開催をしています。

自主事業参加負担金として参加料の負担をいただき、いろいろな事業を開催しています。もともと山間地の地域では「スポーツと空気はタダ」との風潮があり、安い料金設定しかできません。設立当時は10%から20%の自己負担金を徴収していましたが、最近では50%を越す負担金でも多くの参加があります。ようやくクラブの目指している「受益者負担とボランティアシップ」の原則が理解されてきたと思っています。

寄付金については毎年42歳の厄年の方よりクラブに寄附があります。クラブの必要な備品購入(AED、テント、液晶TV 等)に使わせていただいています。

費用弁償ですが、クラブが保有しているマイクロバスの一般の市民への貸し出しによる収益とクラブで制作したロゴマーク入りのTシャツの販売の収益です。

雑収入としてクラブの会員(小中学生、保護者、指導者、NPO会員)による資源回収を行い収益を主にスポーツ少年団とジュニアクラブのユニフォームの購入資金に使っています。

指定管理事業ですが、中津川市付知町地域の体育施設(付知町B&G海洋センター・付知グラウンド・付知弓道場 等)の指定管理委託業務を平成20年度より受託し、組織として一体となり経費削減に取り組んできました。

管理委託事業費ですが、付知川河川公園(河川公園・河川公園グラウンド 等)の業務委託管理を平成20年度より受託し、地域の高齢者で組織されるシルバー人材センターと協力しながら、経費削減に取り組んできました。

指定管理と管理委託事業については、関係者の努力により余剰金を出すことができ、次年度予算に繰入をすることが出来ると思われれます。

クラブとして毎年度当初にはいろいろな出費があり、余裕を持った繰越金が必要です。目標として100万円以上としていましたが、平成25年度には繰越金と繰入金で500万円が達成できました。

【経常支出の部について】

クラブ遠征事業ですが、クラブのマイクロバスの利用が重複したときの民間バス会社よりチャーターし、料金のオーバー分をクラブで負担する支出です。

クラブでは、通常教室(サークル)事業の他にクラブイベント開催事業として、エンジョイプログラム、パワーアッププログラム、チャレンジプログラム、ゲームスプログラムとして24事業を計画しています。いろいろな補助事業を利用しながら受益者負担とクラブの負担金でクラブ会員と地域の夢をかなえる事業としています。

ユニフォーム購入事業では付知中学PTAの補助と会員による資源回収により得た資金にて、継続的に2～3クラブのユニフォームの購入資金として補助をしています。

クラブ育成事業はスポーツ少年団・ジュニアスポーツクラブの子どものスポーツ保険料と指導者の登録料とスポーツ保険料をクラブにて支払っています。また、指導者と運営スタッフに報酬を支払っていますが、総額(100万円程度)と決め、指導者の出席日数で分配をしています。毎年、指導者への報酬は1日あたり約350円前後となっています。

クラブ運営費(事務局費)ですが、臨時職員を毎日4時間程度の雇用をする賃金を計上してあり、あとは通常の経費です。常勤職員と他の臨時職員については、指定管理のなかの事務局費で支払っています。

クラブ運営費(マイクロバス管理費)ですが、クラブ所有のマイクロバスの維持管理費です。車検代金、保険料、タイヤ代や修理費も含んだ管理費です。

予備費は計上してありますが、極力出費を行わないようにし、次年度への繰越金として余裕を持った運営が出来るように心がけます。

現在、2台のマイクロバスを運用し、子ども達のスポーツ活動を支援するため、公共交通の利用の困難である他地域への試合や練習の遠征に無料で貸し出しています。

NPOつけちスポーツクラブの会員は、クラブ全体・単位クラブの活動を通して

「クラブ運営は自分自身のための活動である」

との考えを基本に、みんなで運営する自立したクラブを目指そう。

7-2 事業年度 収支計画書(1)

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

【経常収入の部】

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
会費収入	2,300,000	2,390,000	-90,000	
正会員会費収入	200,000	190,000	10,000	
会員会費収入	2,100,000	2,200,000	-100,000	
補助金等収入	600,000	720,000	-120,000	
姉妹都市交流事業	80,000	80,000	0	
付知中学校PTA	50,000	50,000	0	
付知町スポーツ少年団	190,000	180,000	10,000	
クラブ運営バックアップ事業	200,000	200,000	0	
中津川市がんばるサポート事業	0	80,000	-80,000	
青少年健全育成推進市民会議	30,000	30,000	0	
その他助成金	50,000	100,000	-50,000	
スポーツ振興くじ助成金	3,216,000	5,360,000	-2,144,000	
総合型地域スポーツクラブ基盤強化	2,160,000	3,600,000	-1,440,000	
総合型地域スポーツクラブマネージャー設置	1,056,000	1,760,000	-704,000	
負担金収入	980,000	1,330,000	-350,000	
自主事業参加負担金	600,000	1,000,000	-400,000	
姉妹都市交流事業参加負担金	10,000	10,000	0	
クラブ運営バックアップ事業参加負担金	20,000	20,000	0	
スポーツ振興くじ事業参加料	350,000	300,000	50,000	
寄付金収入	1,400,000	1,400,000	0	
借入金	0	0	0	
費用弁償	1,120,000	1,060,000	60,000	
自動車維持費用弁償	1,120,000	1,050,000	70,000	
マイクロバス	1,000,000	900,000	100,000	
ハイエース	0	0	0	
レンタカー借上げ料	120,000	150,000	-30,000	
クラブTシャツ費用弁償	0	10,000	-10,000	
雑収入	835,000	855,000	-20,000	
受取利息	5,000	5,000	0	
雑収入	80,000	150,000	-70,000	
資源回収収入	450,000	400,000	50,000	
その他	300,000	300,000	0	
収益事業に係わる余剰金の繰入	1,320,000	838,000	482,000	
指定管理事業収入 B&G	15,657,000	15,671,000	-14,000	
指定管理事業収入	1,581,000	1,456,000	125,000	
管理委託事業収入	2,135,000	1,784,000	351,000	
事務委託事業収入 スポ少・体協 その他	600,000	510,000	90,000	
事務委託事業収入 地域情報システム その他	600,000	0	600,000	
前期 繰越収支差額	3,636,362	1,768,000	1,868,362	
経 常 収 入 合 計	35,980,362	35,142,000	838,362	

7-3 事業年度 収支計画書(2)

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

【経常支出の部】

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
スポーツ振興くじ助成金	6,469,000	6,666,000	-197,000	
賃金	1,956,000	1,956,000	0	副クラブマネージャー
諸謝金	3,071,000	3,066,000	5,000	
需用費	0	430,000	-430,000	
役務費	117,000	49,000	68,000	
スポーツ用具費	1,158,000	1,110,000	48,000	
使用料及び賃借料	47,000	55,000	-8,000	
委託料	120,000	0	120,000	
クラブ遠征事業費	150,000	300,000	-150,000	
クラブイベント開催事業費	827,000	1,735,000	-908,000	
諸謝金	200,000	200,000	0	
報酬費	0	800,000	-800,000	
旅費	10,000	10,000	0	
使用料及び賃借料	50,000	200,000	-150,000	
需用費	325,000	425,000	-100,000	
役務費	37,000	60,000	-23,000	
負担金補助及び交付金	5,000	20,000	-15,000	
備品購入費	200,000	20,000	180,000	
ユニフォーム購入事業費	360,000	400,000	-40,000	
クラブ育成事業費	1,675,000	1,735,000	-60,000	
報償費	20,000	30,000	-10,000	
指導者助成金	800,000	800,000		
旅費	80,000	80,000		
役務費	75,000	75,000	0	
負担金補助及び交付金(スポーツ保険料)	700,000	750,000	-50,000	
クラブ運営費(事務局費)	2,045,000	1,895,000	150,000	
賃金	800,000	600,000	200,000	
旅費	250,000	150,000	100,000	
交際費	20,000	20,000	0	
需用費	290,000	440,000	-150,000	
役務費	195,000	195,000	0	
通信運搬費	120,000	120,000	0	
手数料	10,000	10,000	0	
雑役務費	65,000	65,000	0	
使用料及び賃借料	30,000	60,000	-30,000	
備品購入費	100,000	100,000	0	
負担金補助及び交付金	90,000	60,000	30,000	
租税公課	270,000	270,000	0	
クラブ運営費(維持管理費)	1,020,000	1,310,000	-290,000	
諸謝金	30,000	30,000	0	
旅費	5,000	5,000	0	
需用費	500,000	800,000	-300,000	
役務費	373,000	343,000	30,000	
役務費	120,000	0	120,000	
通信運搬費	1,000	1,000	0	
保険料	250,000	340,000	-90,000	
手数料	2,000	2,000	0	
負担金補助及び交付金	12,000	12,000	0	
使用料及び賃借料	0	20,000	-20,000	
租	100,000	100,000	0	
指定管理事業費	15,657,469	15,671,000	-13,531	
指定管理事業費	1,581,956	1,456,000	125,956	
管理委託事業費	2,135,547	1,784,000	351,547	
予備費	4,059,390	2,190,000	1,869,390	
経 常 支 出 合 計	35,980,362	35,142,000	838,362	